

<<回覧板が防災に役立つ理由>>

皆さんは回覧板と防災って関係ないと思っていませんか？
実は、日頃の回覧板のやり取りなどが、いざという時に地域の助け合いにつながるのです。



1. 自治会と回覧板の役割

自治会は、地域の住民同士が支え合い、生活をより良くするための組織です

その中で「回覧板」は地域の複数の情報を確実に伝える大切な手段の一つです。

回覧板には 年末年始のゴミ回収・国勢調査・防災訓練 など、地域の方に必ず知ってほしい情報が盛り込まれています。さらに地域のイベントの情報や、地区センターやケアプラザからの案内など、「そういえばあんな情報があったな」と気づいて活用できる情報もたくさん盛り込まれています。必ず目を通してください！！



デジタル化を進めてもいいとも思うけどね？



最近では、LINE やメールなどのデジタルツールを活用する自治会も増えていますが、すべてをデジタル化すると、次のような問題もあります

- インターネットを使えない方が情報を受け取れない（そういった方のためにも、行政部門やNPO 団体からは紙で配布されている情報も多いです）
- 災害時にシステム障害やインターネット接続の問題により情報にアクセスできなくなるリスクがある（回覧板があれば、万が一の時にも情報は伝達できます）

そのため、私たちの自治会では、ホームページやメール・フォームを活用しつつ、アナログの回覧板も継続することが大切だと考えています

2. 回覧板がつなぐ地域の絆

回覧板には、単に情報を伝えるだけでなく、地域のつながりを強める役割もあります
例えば…

- 回覧板が回る班の方など日頃からあいさつを交わしていると、地域住民同士の連携ができて、不審者が入りこみにくい地域になるなど、**防犯対策** にもなる
- 回覧板を渡す際などのちょっとした会話が、災害時の「大丈夫ですか？」の気遣いにつながり、助け合える関係を築けて、共助力UP！！

普段の小さなつながりが、いざという時に大きな助けになります。
地域の絆を深めて、防災力・防犯力を高めていきましょう！

過去の防災コラムは、大場町一心会のホームページからご覧いただけます